

第 11 回学生研究論文発表会の開催報告

関西支部運営委員 森田裕之（もりた ひろゆき）
大阪府立大学

毎年恒例となりました関西支部主催の第 11 回学生研究論文発表会を、去る 2016 年 3 月 12 日（土）に、大阪府立大学なんばサテライト教室において開催いたしました。この発表会は、経営情報関連の研究を行っている学部、修士・博士前期課程、ならびに博士後期課程の学生に、勉学・研究の成果を発表する機会を与え、質疑応答を通じてよりよい研究へと発展させるための一助とし、優秀な発表を選定して表彰することにより、経営情報関連分野の研究・教育の発展に資することを目的に開催しております。早いもので、平成 17 年度に第 1 回目を開催してから、今年度で 11 回目を数えることとなりました。今回は卒業論文 3 件、修士論文 6 件（うち 1 件はキャンセル）の推薦があり、当日発表いただいた発表者とタイトルは以下の通りでした。

発表者の氏名とタイトル

卒業論文の部

| |
|--|
| 高木 瞳（近畿大学経営学部経営学科） マイナンバー制度における個人番号カードの多目的利用推進の課題分析—個人番号カードの多目的利用に関するアンケート調査結果から— |
| 帯刀洋太（近畿大学理工学部情報学科） SOAP メッセージに対するアグリゲーションの実装と評価 |
| 檜垣貴也（日本大学生産工学部マネジメント工学科） 繰り返す化学災害に関する実証研究—プロセスマネジメントが組織のモメンタムに与える影響— |

修士論文の部

| |
|--|
| 田中宏明（兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科） 災害時における安否確認システムの開発—Android アプリ開発と Windows 環境下での管理システムの構築— |
| 西口浩司（大阪府立大学大学院経済学研究科） 総合通販企業におけるアンサンブルアルゴリズムを用いた顧客の取引継続に関する研究—S 社での適応事例— |
| 原田和実（神戸大学大学院経営学研究科） 企業 ICT 組織におけるアイデンティティの経時的変化—標準化された IT 環境においても市場取引できない ICT 組織の戦略的価値— |
| 平岡利規（近畿大学大学院総合理工学研究科修士課程） テンプレートに基づいた XML 暗号化と XML 署名の実装 |
| 李 秋云（兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科） 文化資本が学生の芸術需要の形成に及ぼす影響に関する分析 |

発表時間は、学部の学生は 1 人あたり発表 10 分質疑 5 分、修士の学生は 1 人あたり発表 15 分質疑 10 分と定めて、研究内容についてのプレゼンテーションと活発な質疑応答を行いました。また、各発表者には、事前に研究内容の予稿を 4 ページで作成していただき、予稿集を発行いたしました。当日、発表内容も含めて特に優れていたとして、檜垣貴也君には、卒業論文の部最優秀論文賞を授与いたしました。

参加者は、学生、教員、企業の方など幅広く、合計 28 名に参加いただき、発表会終了後は場所を変え、発表者とさらに深い議論を行うことができました。今年度も第 12 回の学生研究論文発表会を開催予定ですので、全国から多数のエントリーをいただけるよう、お待ちしております。



当日受賞者を囲んでの記念写真